

科目「ビジネス基礎」について

ワークシートの改善

11月7日、本校で行われた平成28年度国立教育政策研究所「教育課程研究指定校事業（商業）」研究協議会を受け、これまでの学習評価について教科担当で検証を行った。そこでは「授業中の活動の様子に特化した評価になっていないか」「動いている生徒を評価しようとするために評価にエネルギーを使っているのではないか」という課題が浮かび上がった。そこで、これまで活用してきたオリジナルのワークシートに改善を加えることで、もっと簡潔に、合理的に評価ができないだろうか検討した。

具体的な改善点について

従来のワークシートでは、毎時間の授業のポイントとなる部分を問う形式で生徒の考えを記入させていたが、そこに、評価の観点をつけ加え、裏面に評価の詳細を示すことにした。授業後には、必ずワークシートを回収し教科担当が授業の評価にあたり、次の授業で生徒にワークシートを返却するようにした。

現在、このワークシートを使用し授業を行っているが、問題もなく順調に進んでいる。一部の生徒が、教科担当の評価についてその具体的な根拠を質問（確認）することもあるが、教科担当より説明をすると納得し、次の授業に向け前向きに受け止めている様子が見られる。今後も学習と評価の一体化を図り授業改善に取り組んでいきたいと考えている。

図1 2 代命決済
（図1）「クレジットカード」と「ポイントカード」の違いについて
記述せよ。【3】

クレジットカード
ポイントカード

（図2）あなたの身近にある、または持っている「電子マネー」を
記述せよ。【1】

図 具体的な解説にある【 】は、みなさん学習指導要領などの観点
を参考したものです。それぞれの欄には、下記の内容を示してい
ます。

番号	観点	内容
【1】	関心・意欲・態度	学習内容に関心をもち、自ら活 動に取り組もうとする意欲や性 格がわかること
【2】	知識・技能・表現	学習内容について自ら考え、そ の考えを表現できていること （学習内容を授業内容に活用し ていけること）
【3】	技能	

なお、本用紙を次の手順で指導します。

A・・・十分満点と判断されるもの
B・・・おおむね満足できたと判断されるもの
C・・・努力を要すると判断されるもの

第5章
ビジネスと売買取引

1 売買取引の年振
2 代命決済

<学習の目標>

1 買掛金取引における売買契約の意義やその仕組みにつ
いて理解しよう。

2 さまざまな代命決済の手段とその仕組みについて理解
しよう。

1年（ ）組（ ）号 氏名（ ）

図1 1 売買取引の手振
（図1）ビジネスでの売買取引のみなが行う買掛金の取組の違
いを記述せよ。【1】

（図2）商品Aを、〇〇〇の数量が仕入れられた場合、下記の図におい
て、次の①～④の金額はいくらになるか答えよ。【5】

①仕入れ代金
②仕入れ代金控
③仕入れ代金控額
④仕入れ代金控額控
⑤仕入れ代金控額控額

（図3）さきの（図2）の①～④のうち、あなた様の方法を採ら
ざるを、その理由も説明しよう。【2】

①～④のうち、私は（ ）を選びます。

理由

図2 1 売買取引の手振
（図1）ビジネスにおいて買掛金取引を継続・移行する場合、口頭や
電話で済ませることもありますが、一般的には実書を取り交わすこ
とが多い。その理由を答えよ。【1】

図3 2 代命決済
（図1）代金の支払い方法にはどのようなものがあるか、考えよ。【1】

（図2）100円を返済済ませている状態だ。2,500円の商品
を購入し、100円を返済済ませた。この際、返済の
方法が影響してくるが、その理由を答えよ。【2】

（図3）小切手を作成せよ。【3】

図4 2 代命決済
（図1）的実手振と為替手振について記述せよ。【3】

.....
.....